

■PHPの日付フォーマット一覧

作成: 2015.7.23 yoshi

format 文字	説明	戻り値の例
年月日		
Y	西暦年4桁	例: 1999または2003
y	西暦年2桁	例: 99 または 03
m	月: 数字。先頭にゼロをつける。	01 から 12
n	月: 数字。先頭にゼロをつけない。	1 から 12
F	月: フルスペルの文字。	January から December
M	月: 3 文字形式。	Jan から Dec
d	日: 2桁の数字(先頭にゼロがつく場合も)	01 から 31
j	日: 先頭にゼロをつけない。	1 から 31
w	曜日: 数値。	0 (日曜)から 6 (土曜)
D	曜日: 3文字のテキスト形式。	Mon から Sun
l	曜日: フルスペル形式。('l' の小文字)	Sunday から Saturday
N	曜日: ISO-8601 形式の曜日の数値表現	1 (月曜日)から 7 (日曜日)
z	1月1日からの通算日(ゼロから開始)	0 から 365
W	ISO-8601 月曜日に始まる年単位の週番号	例: 42 (年の第 42 週目)
t	指定した月の日数。	28 から 31
L	閏年であるかどうか。	1なら閏年。0なら閏年ではない。
S	英語形式の序数を表すサフィックス(2文字)	st, nd, rd又はthで、jと一緒に使用すること可能
o	ISO-8601 形式の年。これは Y ほぼ同じだが、ISO 週番号 (W) が前年あるいは翌年に属する点で異なる	例: 1999 あるいは 2003
時分秒		
H	時: 24時間単位の数字	00 から 23
h	時: 12時間単位の数字	01 から 12
G	時: 24時間単位で、先頭にゼロを付けない。	0 から 23
g	時: 12時間単位で、先頭にゼロを付けない。	1 から 12
i	分: 先頭にゼロをつける。	00 から 59
s	秒: 先頭にゼロをつける。	00 から 59
u	マイクロ秒: <code>DateTime</code> をマイクロ秒つきで作成した場合は、 <code>DateTime::format()</code> はマイクロ秒にも対応していますが、 <code>date()</code> の場合、常に 000000 となることに注意(この関数が受け取るパラメータは integer 型のため)	例: 654321
a	午前または午後(小文字)	am または pm
A	午前または午後(大文字)	AM または PM
B	Swatch インターネット時間	000 から 999
タイムゾーン		
e	タイムゾーン識別子	例: UTC, GMT, Atlantic/Azores
I	サマータイム中か否か('I' の大文字)	「1」ならサマータイム中で、「0」ならそうではない
O	グリニッジ標準時 (GMT) との時差	例: +0200
P	グリニッジ標準時 (GMT) との時差。時間と分をコロンで区切った形式	例: +02:00
T	タイムゾーンの略称	例: EST, MDT ...
Z	タイムゾーンのオフセット秒数。UTC の西側のタイムゾーン用のオフセット	-43200 から 50400
全ての日付/時刻		
c	ISO 8601 日付	2004-02-12T15:19:21+00:00
r	RFC 2822 フォーマットされた日付	例: Thu, 21 Dec 2000 16:01:07 +0200
U	Unix Epoch (1970 年 1 月 1 日 0 時 0 分 0 秒) からの秒数	time() も参照